

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿
農業資材販売等関係者

福岡県病虫害防除所長

平成17年度病虫害発生予報第10号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成17年度病虫害発生予報第10号(1月)

【野菜】

作物名	病虫害名	発生現況 (平年比)	発生予想 (平年比)
イチゴ	灰色かび病 うどんこ病 アブラムシ類 ハダニ類	並 並 並 やや多い	並 並 並 やや多い
ナス	うどんこ病 灰色かび病 すすかび病	並 並 並	並 並 並
トマト	灰色かび病 葉かび病	並 やや多い	並 やや多い
キュウリ	べと病 うどんこ病 灰色かび病	多い 並 並	多い 並 並
キャベツ	黒腐病 菌核病 コナガ	少ない 並 少ない	少ない 並 少ない
レタス	菌核病 灰色かび病 腐敗病	並 やや多い 並	並 やや多い 並
野菜共通	ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	並 並	並 並

【野菜】

1 イチゴのうどんこ病

(1) 予報の内容

発生量：平年並、前年より多い

(2) 予報の根拠

ア 12月3半旬調査の結果、発病株率は3.2%（平年：4.3%、前年：0.0%）であった。

イ 気象予報では、1月の平均気温は低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている（以下の病害虫についても同じ）。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 草勢が低下すると発病が助長されるので、適正な肥培管理を行う。

イ ハウスの換気を行い、多湿にならないよう管理する。

ウ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する（以下の病害虫についても同様）。

2 イチゴのハダニ類

(1) 予報の内容

発生量：平年よりやや多く、前年並

(2) 予報の根拠

12月3半旬調査の結果、寄生株率は6.6%（平年：3.5%、前年：9.7%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 多発生後は防除が困難となるので、早期発見、早期防除に努める。

イ 寄生した株の葉かぎ後の複葉や除草した雑草は、ほ場周辺に放置せず速やかにビニル袋等に入れて密閉し処分する。

3 トマトの葉かび病

(1) 予報の内容

発生量：平年よりやや多く、前年並

(2) 予報の根拠

ア 12月3半旬調査の結果、発病葉率は3.9%（平年：1.9%、前年：8.1%）であった。

イ 気象予報では、1月の平均気温は低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア ハウスの換気を行い、多湿にならないよう管理する。

イ 草勢が低下すると発病が助長されるので、適正な肥培管理を行う。

ウ 病勢が進展すると防除が困難となるので、発病前または発病初期の防除を徹底する。

エ 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

オ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

4 キュウリのべと病

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年より多い

(2) 予報の根拠

ア 12月3半旬調査の結果、発病葉率は18.4%（平年：5.4%、前年：6.6%）であった。

イ 気象予報では、1月の平均気温は低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 草勢が低下すると発病が助長されるので、適正な肥培管理を行う。
- イハウスの換気を行い、多湿にならないよう管理する。
- ウ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

5 レタスの灰色かび病

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年よりやや多い

(2) 予報の根拠

- ア 12月3半旬調査の結果、発病株率は0.9%（平年：0.1%、前年：0.0%）であった。
- イ 気象予報では、1月の平均気温は低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア ビニル被覆後は、多湿にならないよう管理する。
- イ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

病害虫防除所では、病害虫の発生状況と防除について
ホームページでお知らせしています。

ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka>
電子メール kfok0301@sp.jppn.ne.jp

九州北部地方（山口県を含む） 1か月予報

（12月17日から1月16日までの天候見通し）

平成17年12月16日
福岡管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

予報期間を通じて気温の低い日が多く、特に向こう1週間は強い寒気の影響を受ける見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

九州北部地方では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並、日照時間は少ないでしょう。

週別の気温は、1週目、2週目は低く、3～4週目は平年並か低いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>

[気 温] 九州北部地方

60	30	10
----	----	----

[降 水 量] 九州北部地方

30	40	30
----	----	----

[日照時間] 九州北部地方

50	30	20
----	----	----

低い(少ない)	平年並	高い(多い)
---------	-----	--------

<気温経過の各階級の確率（%）>

[1 週目] 九州北部地方

80	10	10
----	----	----

[2 週目] 九州北部地方

50	30	20
----	----	----

[3 ～ 4 週目] 九州北部地方

40	40	20
----	----	----

低い	平年並	高い
----	-----	----

<予報の対象期間>

1か月 : 12月17日(土)～1月16日(月)

1週目 : 12月17日(土)～12月23日(金)

2週目 : 12月24日(土)～12月30日(金)

3～4週目 : 12月31日(土)～1月13日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報 : 毎週金曜日 14時30分 次回は12月23日

3か月予報 : 12月22日(木) 14時00分